

整理番号 28-10
補助事業名 平成28年度 障害者の生活の質の向上に資する3Dプリンタ出力製品の高付加価値化 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 機械振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

3Dプリンタを活用して障害のある人の就労支援を実施し、先端的なものづくりの現場に活躍の場を創造することによる「生活の質の向上」と3Dプリンタによる高付加価値で信頼性の高いものづくりの実現を目的としている。

(2) 実施内容

①障害者の生活の質の向上に資する3Dプリンタ出力製品の高付加価値化 補助事業 (http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1211)

我が国の少子高齢化に伴う労働人口の減少と膨らみ続ける福祉予算に歯止めをかけるため、総活躍社会の実現が期待されています。本事業はJKA補助事業として、特に勤労意欲を持っているにも関わらず職種が限定的かつ低工賃であるため未だ十分な社会参加ができていないと考えられる障害のある人に焦点をあて、先端的なものづくりの現場に障害のある人の活躍の場を創造することによる「生活の質の向上」を目指している。

本事業では障害者の高付加価値就労を目指して立案した3Dプリント出力ビジネスを持続的事業として成立させるため、高付加価値な3Dプリント出力製品に望まれる機能として製品の機械的特性に着目した。出力された造形物が実使用可能な部品となるような高い信頼性を確保することで競争力確保を目指すだけでなく、3Dプリント出力製品の利用範囲をさらに広げることによる障害者就労支援事業の参画者拡大に向けた知見を得た。

2 予想される事業実施効果

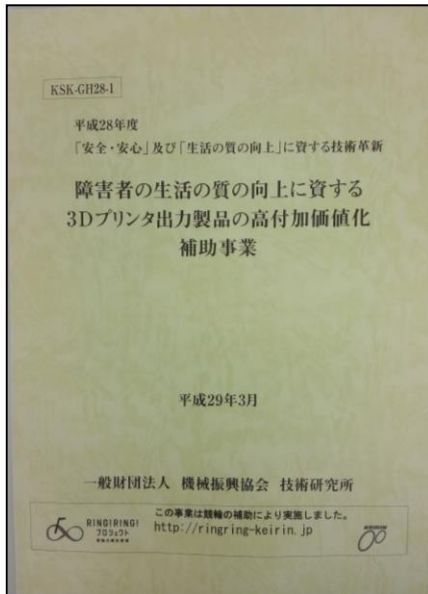
今後ますます利用拡大が予測される3Dプリンタ出力製品を信頼性が必要な領域でも使用可能にすることで、構築してきたビジネスモデルによる障害者就労支援事業の競争力の向状、優位性の確保だけでなく、3Dプリント出力サービスの仕事量をさらに増大できる。これによって多くの障害者の方々が生きがい、やりがいを感じながら高工賃を得ることができるため、3Dプリンタを用いた高付加価値な障害者就労支援事業に参画される方々の生活の質の向上に貢献する。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

障害者の生活の質の向上に資する3Dプリンタ出力製品の高付加価値化 補助事業

(http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1211)



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人機械振興協会 (キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

代表者： 会長 庄山 悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 技術研究所 技術開発センター ものづくり人材育成事業チーム (ギジュツケンキュウジョ ギジュツカイハツセンター モノヅクリジンザイクセイジギョウチーム)

担当者名： 技術副主幹 藤塚 将行 (フジツカ マサユキ)

電話番号： 042-475-1155

F A X： 042-474-1980

E-mail： fujitsuka@tri.jspmi.or.jp

U R L： <http://www.jspmi.or.jp/>